

WHO ファクトシート

C 型肝炎

Hepatitis C

2018 年 7 月 18 日

重要な事実

- ・C 型肝炎は、C 型肝炎ウイルスの感染による肝臓疾患である。このウイルスは、急性及び慢性の肝炎を引き起こすことがあり、2～3 週間で終わる軽い病態から重く一生続く病態まで、その重篤さには幅がある。
- ・C 型肝炎ウイルスは血液媒介ウイルスであり、感染の最も一般的な形態は少量の血液への暴露である。この感染は、注射による薬物使用、非安全な注射行為、非安全な医療ケア及びスクリーニングされていない血液や血液製剤の注入などで起きる。
- ・世界的には、推計 7100 万人の人々が慢性 C 型肝炎に罹患している。
- ・慢性的感染者のかなりの数の人々は、肝硬変や肝臓がんを併発する。
- ・毎年約 399000 人が C 型肝炎で死亡しており、その大部分は肝硬変や肝細胞がんによるものである。
- ・抗ウイルス薬は C 型肝炎患者の約 95% を治癒することが出来、これにより肝臓がんや肝硬変による死亡リスクが減少するが、診断や治療へアクセスできる割合は低い。
- ・C 型肝炎用の予防ワクチンは今のところないが、この分野の研究は進行中である。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Hepatitis C ファクトシート原文は [こちら](#)